



# 高鷲小学校 学校だより

2020年4月号

夢に向かい 共に創る子

すすんで学習  
思いやりの行動

あいさつ・言葉づかい

## エ ー ル

校長 野々田光則

1年前、この学校だよりに「春の陽気に誘われて、子どもたちは外や体育館で元気に遊んでいます。」と書きましたが、今はこの姿がありません。しかし、時々校庭に体を動かしてくる子どもたちの元気な声が聞こえると、ほっとします。

保護者の方には3月2日から毎日健康状態の報告をいただいておりますが、これまで土日を除いた39日間（4月23日まで）で延べ30日は児童全員が体調良好でした。あの日も体調不良児童は1日に1名程度であり、各家庭で健康に留意した生活を送るよう見届け（エール）していただいていること、本当に感謝しています。

4月7日は4月で唯一、子どもたちが学校に登校できる日でした。着任式や始業式ができ、15名の新1年生の入学式も行うことができました。元気のよい返事やニコニコした笑顔がとても印象的でした。郡上良良ちゃんをゲストに呼び、良良ちゃんからも1年生に対してお祝いの言葉や「ひとりでもできることを多くすると、学校が楽しくなるよ」と励まし（エール）をもらいました。



また、登校する前の日には、高鷲の少年野球クラブの保護者の方がグラウンドを整備してくださったおかげで、大変きれいなグラウンドを歩いて子どもたちが登校することができました。これも学校に協力（エール）をいただいていることと思うと嬉しくなりました。

22日には、『高鷲山彦会』の麥島会長さんが来校され、子どもたちと職員に「布マスク」を寄贈して下さいました**（本日の家庭訪問で配付しました）**。また、体育館の扉を修繕してくださった『高建コーポレーション』の方からは、別の扉の塗料をいただきました。このように地域の団体の方からの援助（エール）もあり、あらためて高鷲の子どもたちや学校を大切にいただいていることにも感謝しています。



さて、私たち職員はこの臨時休校中、家庭で生活する子どもたちにどのような支援（エール）ができるのか毎日模索しています。家庭に配付する生活の仕方や学習の進め方は、お願いばかりの一方通行ですが、今後は子どもたちが提出する生活記録や学習状況を把握して支援方法を工夫していこうと考えています。今しばらくは家庭での生活が続きますが、学校再開になった時、毎日元気に学校に通えるよう心と体の健康づくりを、今後もよろしく願います。